

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度(平成9年度)		根拠法令・例規等		マイタウン・マイクロバス実施要領		
総合計画	大項目	基本目標	05	住民主体の協働のまちづくり		問	担当課(室)	総務課		
	中項目	基本施策	01	住民主体の協働のまちづくり			合	職・氏名	係長 藤田 政宣	
	小項目	施策	01	広聴広報			先	電話	0869-64-1800	
事務事業名		03		施設見学会事業		このシート作成に要した時間		1.0 時間		

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	市民レベルで組織された各種任意団体・サークル等		
目的(何のために)	市民参加の行政を進めるうえで、市民の市政に対する理解・協力は必要不可欠なものであり、市民に市内の公共施設等を見学してもらうことで市政に対する理解と関心を深めていただく		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	開催回数と参加人数が増加することで、多くの市民に市政に対する理解と関心を深めていただく		

事業の実績		Do		
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度
	マイタウンマイクロバス運営事業	15人以上(25人未満)の団体等からの申し込みにより、市内公共施設を半日間のバスで案内し、各担当者から施設の業務内容や利用方法などを説明する 24年度、3団体(野谷やまびこ会(野谷)、伊里地区老人クラブ(穂浪)、サロン西村(香登西))・46人		

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績		
	直接事業費	千円	0	0	0			
	必要人員(人)	千円	0.01人	59	0.02人	159	0.01人	61
	事業費	千円	59	159	61			
	国庫支出金	千円						
	受益者負担	千円						
繰入金	千円							
市債	千円							
その他()	千円							
一般財源	千円	59	159	61				
受益者負担比率	%	-	-	-				

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	説明		マイタウンマイクロバスの開催回数		
	結果指標量	回	4	4	3
	対前年比	%	-	100.0%	75.0%
	活動コスト	円	59,000	159,000	61,000
単位当たりコスト	円	14,750	39,750	20,333	

事業の成果		平成22年度					平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	年度	目標値(A)	100	100	100	100	100	100	
開催率(%)	実績値(B)	100	100	100	100	到達目標値			
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%				
成果指標設定の考え方・式や説明									
開催数 / 申込数									

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い		D
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
市民参画度				D

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	利用希望団体が偏った傾向にあるが、開催希望者が主体的に市政に対して理解を深めたいという意向を尊重し、コミュニティづくりのきっかけになるように制度は継続するが、実施方法の改善策を検討する

総合評価		総合評価	D
市内公共施設を市のバスで案内し、各施設の業務内容や利用方法を理解していただくことの有効性はあるが、利用団体が偏ってきている。バス運行も民間委託となったことから今後の事業展開を決定する必要がある		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	D

平成26年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了					
取組目標	利用希望団体が少なく、事業の有効性はあるものの本来の趣旨とは違った形になっており、事業継続しても効果は期待できない。利用団体も偏っていることから事業の廃止を検討する					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな